

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-326925

(43)Date of publication of application : 22.11.2001

(51)Int.Cl.

H04N 7/173

G11B 19/16

H04N 5/44

H04N 5/445

H04N 5/765

H04N 5/781

(21)Application number : 2000-144039

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 16.05.2000

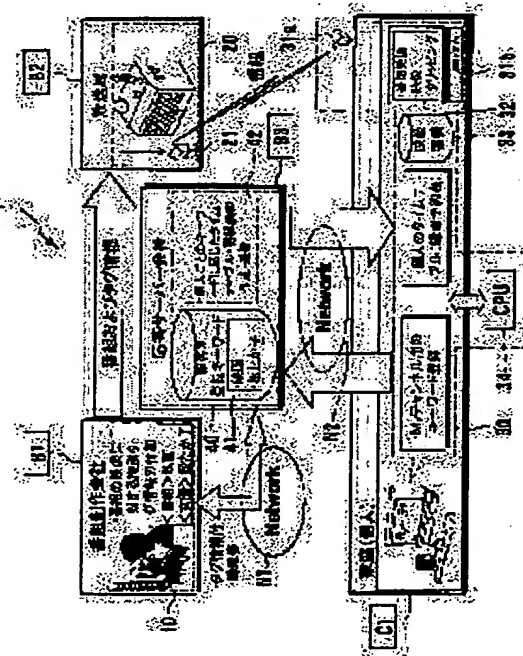
(72)Inventor : MASUNARI SATORU
ISHII HIROAKI
SAITO HIROMI

(54) VIDEO RECORDING METHOD AND VIDEO RECORDING SYSTEM FOR PROGRAM VIDEO

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method and system with which a specific video interesting or necessary for each person can be seen reliably without omission, while storing once a program broadcast by digital broadcasting in a recording medium at the side of a receiver of each home or the like and efficiently employing the advantage of a digital technique enabling viewing and listening of contents when one feels like it.

SOLUTION: The clipping video recording system 1 for a program video records on videotape the program broadcast by a broadcast station B2, and is provided with a keyword registration means to previously register keyword information according to the needs of a customer who is the viewer of the program for each customer (30, 40), and a video storage means which clips video data corresponding to keyword information registered by the keyword registration means from the program during the broadcast of the program to store them in the recording medium 33 (10, 20, 30, 40).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 06.02.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 27.04.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(43)公開日 平成13年11月22日(2001.11.22)

(51)Int.Cl. ¹	識別記号	F I	テマコード(参考)
H 0 4 N 7/173	6 4 0	H 0 4 N 7/173	6 4 0 A 5 C 0 2 5
G 1 1 B 19/16	5 0 1	G 1 1 B 19/16	5 0 1 E 5 C 0 6 4
H 0 4 N 5/44		H 0 4 N 5/44	A
5/445		5/445	Z
5/765		5/781	5 1 0 C

審査請求 有 請求項の数 8 OL (全 8 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-144039(P2000-144039)

(22) 出願日 平成12年5月16日(2000.5.16)

特許法第64条第2項ただし書の規定により図面第4図、
5図の一部は不掲載とした。

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

東京都港区芝浦一丁目1番1号

(72) 發明者 増成 悟

東京都府中市東芝町1番地 株式会社東芝
府中事業所内

(72) 発明者 石井 宏明

東京都港区芝浦一丁目1番1号 株式会社
東芝本社事務所内

(74) 代理人 100078765

弁理士 波多野 久 (外1名)

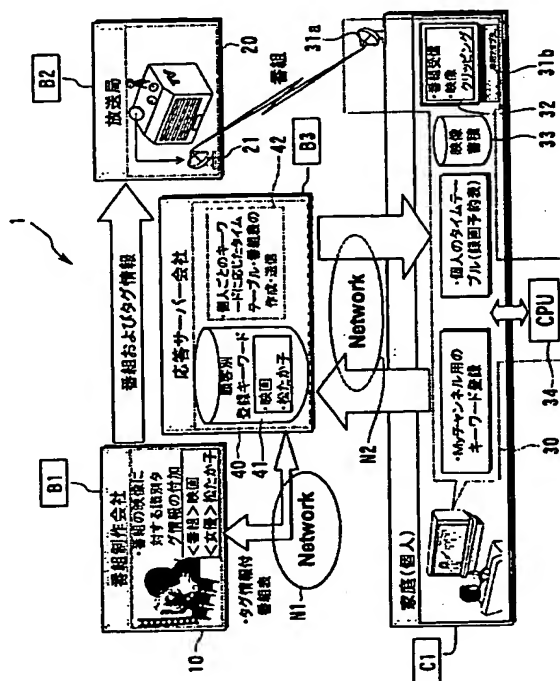
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 番組映像の録画方法及び録画システム

(57) 【要約】

【課題】デジタル放送により放映される番組を各家庭等の受信機側の記録媒体に一旦蓄積させその内容を好きなときに視聴できるデジタル技術の利点を生かしつつ、各個人毎に必要な又は興味のある特定の映像を漏れ無く確実に観ることのできる方法及びシステムを提供する。

【解決手段】番組映像のクリッピング録画システム1は、放送局B2により放送される番組を録画するもので、番組の視聴者である顧客のニーズに応じたキーワード情報をその顧客毎に予め登録するキーワード登録手段(30、40)と、このキーワード登録手段により登録されたキーワード情報に対応する映像データを前記番組の放送時にその番組の中からクリッピングして記録媒体33に蓄積させる映像蓄積手段(10、20、30、40)と、を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 放送局により放送される番組を録画する録画システムであって、前記番組の視聴者である顧客のニーズに応じたキーワード情報をその顧客毎に予め登録するキーワード登録手段と、このキーワード登録手段により登録されたキーワード情報に対応する映像データを前記番組の放送時にその番組の中からクリッピングして記録媒体に蓄積させる映像蓄積手段と、を備えたことを特徴とする番組映像の録画システム。

【請求項2】 請求項1記載の発明において、前記映像蓄積手段は、前記キーワード情報を元に前記番組の映像内容を識別可能なタグ情報を、その番組を構成するデータ中に付与するタグ情報付与手段を備えたことを特徴とする番組映像の録画システム。

【請求項3】 請求項2記載の発明において、前記映像蓄積手段は、前記タグ情報付与手段によりタグ情報の付与された番組と前記キーワード情報とを元に顧客別の番組表を作成し、その番組表に基づいて前記番組の中から映像データをクリッピングする手段をさらに備えたことを特徴とする番組映像の録画システム。

【請求項4】 請求項2記載の発明において、前記タグ情報付与手段は、前記番組がライブ番組である場合にその放送時に前記番組中にその映像から所定時間遅れて前記タグ情報又はその関連情報を付与する手段を備えたことを特徴とする番組映像の録画システム。

【請求項5】 請求項2記載の発明において、前記キーワード登録手段は、前記顧客の操作により前記キーワード情報を選択及び／又は入力可能な操作手段を備えたことを特徴とする番組映像の録画システム。

【請求項6】 放送局により放送される番組を録画する録画システムであって、前記番組の視聴者である顧客の利用する通信端末から通信手段を介してその顧客のニーズに応じた番組映像の予約を受け入れる番組予約手段と、この番組予約手段により予約を受け入れた番組映像を前記顧客が視聴可能に記録媒体に蓄積させる映像蓄積手段と、を備えたことを特徴とする番組映像の録画システム。

【請求項7】 放送局により放送される番組を録画する方法であって、前記番組の視聴者である顧客のニーズに応じたキーワード情報をその顧客毎に予め登録するステップと、ここで登録されたキーワード情報に対応する映像データを前記番組の放送時にその番組の中からクリッピングして記録媒体に自動的に蓄積させるステップと、を備えたことを特徴とする番組映像の録画方法。

【請求項8】 放送局により放送される番組を録画する録画システムであって、前記番組の視聴者である顧客の利用する通信端末から通信手段を介してその顧客のニーズに応じた番組映像の予約を受け入れるステップと、ここで予約を受け入れた番組映像を前記顧客が視聴可能に記録媒体に蓄積させるステップと、を備えたことを特徴

とする番組映像の録画方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、番組映像の録画方法及び録画システムに係り、特に視聴者の興味のある映像のクリッピング録画に関する。

【0002】

【従来の技術】2000年末に実施予定のBS（放送衛星）デジタル放送や、その後に実施予定の地上波デジタル放送等に加え、放送分野におけるデジタル化が急速に進められている。この種のデジタル放送では、本放送及びデータ放送として映像、音声、及びデータの各情報が多重化されて視聴者側のテレビに送られる。これにより、視聴者は、本放送による通常の番組に加え、データ放送を利用して番組と並行して興味のある出演者等に関する情報や、気象情報、ニュース等を確認したり、公衆回線を介してオンラインショッピング等に行ったりすることが可能とされている。

【0003】このようなデジタル放送の利便性に着目した技術として、最近では、視聴者が放送時刻に縛られずに自分のペースで見たい番組を観ることを目的とする蓄積型情報放送システム等が提案されている（例えば、特開平11-196385号公報、特開平11-196389号公報）。このシステムによれば、放送局が主番組の放送に多重化させるデータとしてタグ情報と本体情報のコンテンツを含むダイジェストを放送し、視聴者の受信端末側ではそのダイジェスト放送を予め設定した優先度に応じて選択して記憶媒体に蓄積するようになってい。これにより、視聴者は、好きなときにいつでも放映させて楽しんだ入り、あるいはダイジェストを元に放送局のデータベースから番組を入手したりすることが可能とされている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述で提案されている蓄積型情報放送システムでは、たしかに視聴者が好きなときに好きな番組を観ることができる利点があるが、視聴者の受信端末側で蓄積される情報はダイジェストのみでしかも予め放送局側の意図により制作されたものであり、必ずしも視聴者側の視点に立ったものとは言えない。

【0005】例えば、1つの番組の中でも見たい映像は各個人の好みや興味によって異なり、視聴者によっては、1つの番組を全て観るのではなく、その中でもある特定の出演者（歌手、俳優等の芸能人、スポーツ選手など）のみが出演しているシーンやカットのみを観たい場合もある。上述の例では、こういった場合を必ずしも意識したものではなく、予め放送局側で編集された番組のダイジェストを蓄積してこれを視聴の際に利用するものであり、これではダイジェストでカバーしきれない部分に視聴者の興味のある映像が含まれている場合にはこれ

を見逃して観ることができない場合も想定される。その対策として、ダイジェストではなく番組単位で全ての映像を録画していると、その中から必要な映像のみを観たい場合には使い勝手が悪く、しかも記録媒体の容量の制約を受けやすいといった問題も考えられる。

【0006】本発明は、このような従来の事情を背景になされたもので、デジタル放送により放映される番組を各家庭等の受信機側の記録媒体に一旦蓄積させその内容を好きなときに視聴できるデジタル技術の利点を生かしつつ、各個人毎に必要な又は興味のある特定の映像を漏れ無く確実に観ることのできるシステムを提供することを、その目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の発明では、放送局により放送される番組を録画する録画システムであって、前記番組の視聴者である顧客のニーズに応じたキーワード情報をその顧客毎に予め登録するキーワード登録手段と、このキーワード登録手段により登録されたキーワード情報に対応する映像データを前記番組の放送時にその番組の中からクリッピングして記録媒体に蓄積させる映像蓄積手段と、を備えたことを特徴とする。

【0008】請求項2記載の発明では、請求項1記載の発明において、前記映像蓄積手段は、前記キーワード情報を元に前記番組の映像内容を識別可能なタグ情報を、その番組を構成するデータ中に付与するタグ情報付与手段を備えたことを特徴とする。

【0009】請求項3記載の発明では、請求項2記載の発明において、前記映像蓄積手段は、前記タグ情報付与手段によりタグ情報の付与された番組と前記キーワード情報とを元に顧客別の番組表を作成し、その番組表に基づいて前記番組の中から映像データをクリッピングする手段をさらに備えたことを特徴とする。

【0010】請求項4記載の発明では、請求項2記載の発明において、前記タグ情報付与手段は、前記番組がライブ番組である場合にその放送時に前記番組中にその映像から所定時間遅れで前記タグ情報又はその関連情報を付与する手段を備えたことを特徴とする。

【0011】請求項5記載の発明では、請求項2記載の発明において、前記キーワード登録手段は、前記顧客の操作により前記キーワード情報を選択及び／又は入力可能な操作手段を備えたことを特徴とする。

【0012】請求項6記載の発明では、放送局により放送される番組を録画する録画システムであって、前記番組の視聴者である顧客の利用する通信端末から通信手段を介してその顧客のニーズに応じた番組映像の予約を受け入れる番組予約手段と、この番組予約手段により予約を受け入れた番組映像を前記顧客が視聴可能に記録媒体に蓄積させる映像蓄積手段と、を備えたことを特徴とする。

【0013】請求項7記載の発明では、放送局により放送される番組を録画する方法であって、前記番組の視聴者である顧客のニーズに応じたキーワード情報をその顧客毎に予め登録するステップと、ここで登録されたキーワード情報に対応する映像データを前記番組の放送時にその番組の中からクリッピングして記録媒体に自動的に蓄積させるステップと、を備えたことを特徴とする。

【0014】請求項8記載の発明では、放送局により放送される番組を録画する録画システムであって、前記番組の視聴者である顧客の利用する通信端末から通信手段を介してその顧客のニーズに応じた番組映像の予約を受け入れるステップと、ここで予約を受け入れた番組映像を前記顧客が視聴可能に記録媒体に蓄積させるステップと、を備えたことを特徴とする。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る番組映像の録画方法及びシステムの実施形態を具体的に説明する。

【0016】図1は、主にBSや地上波等で実施予定のデジタル放送を元にその番組を放送する側とその視聴側との間で番組映像録画に関する新規事業（「マイ(My)・チャンネル・サービス」）を展開することを想定し、そのサービス提供の基盤となるマイ・チャンネル・サービス支援システム（本発明の番組映像の録画システムを成す）1の全体像を説明するものである。なお、本例では、サービス事業の名称を「マイ(My)・チャンネル・サービス」としてあるが、これはあくまで仮称であり、本発明はこれに限定されるものでないことは言うまでもない。

【0017】図1に示すマイ・チャンネル・サービス支援システム1は、番組制作会社B1に置かれた番組制作システム10と、放送局B2に置かれた番組放送システム20と、一般家庭C1に置かれたデジタルテレビ(TV)30と、応答サーバ会社B3に置かれた情報システム40と、で構成される。

【0018】この内、番組制作システム10と情報システム40の間は、公衆回線等のネットワーク（通信回線）N1を経由して例えばインターネットによるWeb等の各種サービスが利用可能に接続される。同様に、TV30と情報システム40の間も、ネットワークN2を経由して同様の各種サービスが利用可能に接続される。また、本例では特に図示していないが、番組制作システム10と番組放送システム20の間も、同様のネットワークを介してオンラインで番組等を供給可能に接続することも可能である。

【0019】番組制作システム10は、制作された番組に対してその番組内容（映像）を後述のキーワード情報に関連付けて特定・識別可能なタグ情報（例えば＜番組＞映画、＜女優＞松たか子等）を付与するタグ付けシステム（図示しない）を備える。このタグ付けシステムは、例えばXML(eXtensible Marku

p Language)、BML等のマークアップランゲージ(マークアップ記述言語)を用いて番組の各映像内容に関する各種情報を番組中に記述する構成であれば適用可能である。また、このタグ付けシステムは、ライブ放送に対応するため、例えば音声認識や画像認識技術を採用した自動タグ付けシステムで構成することも可能である。このシステムにより付加されるタグ情報の例を図2に示す。

【0020】図2に示すタグ情報は、放送の流れに沿ってその番組内容に応じて付与されるもので、例えば番組タイトル:<#タイトル>、料理番組:<ウーロン茶>、<ワカメ>、CM:<企業名>、<商品名>、<TELNO>、健康番組:<高血圧>等となる。

【0021】番組放送システム20は、番組制作システム10により制作された番組等を本放送及びデータ放送として送信機21を介して放送する。

【0022】デジタルテレビ30は、番組放送システム20により放送される本放送及びデータ放送の番組を受信する受信機(受信アンテナ31a及び専用アダプタ31bを含む)と、その受信機で受信される番組を放映する受像機(図示しない操作器にはリモコンが含まれる)32と、この受像機32内に一体に搭載され又は別体に接続される番組映像蓄積用のハードディスク等の記録媒体33と、番組映像クリッピング等に関する制御中枢としてのCPU34と、を備える。また、このテレビ30には、後述の応答サーバ会社B3の情報システム40との間で「Myチャンネル」用のキーワード登録に関する情報や個人のタイムテーブル(録画予約表)に関する情報をやり取りするための通信系(図示しない)が接続されている。専用アダプタ31bには、図示しないセット・トップ・ボックス(STB)が含まれる。

【0023】応答サーバ会社B3の情報システム40は、各家庭のテレビ30から送信された顧客別のキーワード情報を登録するデータベース41と、このデータベース41に登録されたキーワード情報と番組制作システム10から送られるタグ情報付き番組とに基づいて個人毎のキーワード情報に応じたタイムテーブルを作成しそれを各個人のテレビ30に送信するサーバ42と、を備える。サーバ42は、例えばサーバアプリケーションソフトウェアが実装されたサーバ専用コンピュータ(UNIX(登録商標)サーバ、PCサーバ等)で構成される。

【0024】図3は、マイ・チャンネル・サービス支援システム1の処理手順を各業界B1~B3及び家庭C1毎に説明するものである。

【0025】1. 番組制作会社B1

番組制作会社B1では、番組制作システム10により顧客の選択可能なキーワード情報が選定・作成され、それが応答サーバ会社B3に送られる(ステップS11)。そして、番組制作システム10のタグ付けシステムによ

り番組台本に基づいてその番組内容(映像)に対するタグ情報が生成・付加され、そのタグ情報の付加された番組映像が放送局B2に送られると共に、そのタグ情報の付加された番組表が応答サーバ会社B3に送られる(ステップS12~S14)。

【0026】2. 放送局B2

放送局B2では、番組制作会社B1から送られたタグ情報付きの番組を番組放送システム20により本放送及びデータ放送として放送する(ステップS21)。

【0027】3. 応答サーバ会社B3

応答サーバ会社B3では、放送局B3から送られたキーワード情報を各家庭C1に送信する(ステップS31)。これにより、各家庭C1では録画したい番組映像のキーワード選択・登録が可能となる。そして、このように各家庭C1で選択・登録されたキーワード情報は、各家庭C1から応答サーバ会社B3に送られ、サーバ42により顧客別のキーワード情報としてデータベース41に登録される(ステップS32)。

【0028】次いで、放送局B3から送られたタグ情報付きの番組表を受信すると(ステップS33)、サーバ42によりデータベース41内の顧客別登録キーワードとそのタグ情報付きの番組表とを互いに照合し(ステップS34)、これにより登録キーワードに対応するタグ情報に付加されている番組表を元に顧客別のMyチャンネル用の番組録画表を編集、作成し(ステップS35)、その番組録画表を各家庭C1に送る(ステップS36)。

【0029】4. 家庭C1

家庭C1では、ネットワークN2を介して応答サーバ会社B3からのキーワード情報を受信すると(ステップS1)、テレビ30を観る視聴者(個人)のリモコン等の操作により録画したい番組映像のキーワードを選択・登録する(ステップS2)。この場合のキーワード登録で使用されるテレビ30の表示例を図4及び図5に示す。

【0030】図4は、キーワードを選択する場合の登録画面の例を示す。この例では、視聴者が画面を見ながらリモコン等の操作で容易に選択できるGUIで構成され、映画、アニメ、スポーツ、音楽、教養、ドラマ、CM等のカテゴリ別にジャンル、番組、人、場面等の各項目が設定され、その各項目の中から予め登録されたキーワード群がコンボボックスやプルダウンメニュー等により表示可能となっている。キーワード群としては、例えばスポーツの場合では、サッカー、プロ野球、ゴルフ、テニス、プロレス等が、また人の場合では、長島茂雄、松井秀喜、中田英寿等が表示される。この画面は複数枚の場合、例えば画面上部に設定された「前」ボタン及び「次」ボタンで押す操作で前画面又は次画面を順次切り換えて表示可能となっている。

【0031】図5は、キーワードを入力する場合の登録画面の例を示す。この例では、視聴者の操作により興味

のある或いは好きなキーワードが1つ又は複数入力可能となっている。

【0032】以上のキーワード選択・入力が終わると、画面下部に設定された「登録」ボタン(図4参照)等のクリック操作によりキーワード情報の登録が確定され、そのキーワード情報が応答サーバB3に送られる。また、同様の画面下部に設定された「取り消し」ボタン(図4参照)等のクリック操作することで、キーワードの修正・取り消しも可能となっている。

【0033】その後、応答サーバ会社B3からMyチャンネル用の番組録画表を受信する(ステップS3)し、放送局B2から番組が放送されると、その受信した番組の中から番組録画表に登録された番組映像をクリッピングして自動的に記録媒体33に蓄積する(ステップS4~S5)。そして、視聴者は蓄積した番組映像を所定の蓄積番組選択画面等を見ながら選択し、視聴可能となっている。この蓄積番組選択画面の一例を図13に示す。

【0034】図13に示す表示例では、図4及び図5と同様のGUIで構成され、現在、記録媒体33に蓄積されているキーワード(例えば、GLAY)毎の番組一覧(GLAYの主演した番組1~番組4)が視認可能となっている。キーワードに応じた各番組は、「見る」及び「削除」ボタンのクリック操作によりそれぞれ個別に視聴・削除が可能となっている。また、キーワード毎に「全て見る」及び「削除」ボタンのクリック操作により全ての番組が視聴・削除可能となっている。

【0035】以上のように、本例では、1)番組制作会社B1及び放送局B2は、番組制作時に番組映像の内容、すなわちシーンやカット等が特定できる情報をタグとしてあらかじめ埋め込んで放送する、2)各家庭C1の視聴者は、自分の必要又は興味のある番組のキーワードをあらかじめ応答サーバ会社B3に送信・登録する、3)応答サーバ会社B3は、キーワードに対応した録画番組表(My録画番組表)を各家庭C1に送信する、4)各家庭C1では、録画番組表に応じて番組映像のクリッピングを行う構成としたため、各個人毎に興味のある映像を、番組単位でなく、その映像内容を識別して各個人毎に異なるコンテンツを自動的に録画することが可能となる。

【0036】これにより、サービス事業の観点からみれば、番組の内容まで識別して各個人毎に異なるコンテンツの自動的な録画や番組映像部分のクリッピングが可能になれば、例えば応答サーバ会社のキラーコンテンツになるものと期待できる。

【0037】なお、本例では主に予め制作された番組を放送することを例示してあるが、ライブ放送の場合には、その各場面(シーンやカット)毎のクリッピングを放送と同時に行うことは自ずと限界がある。従って、ライブ放送用のクリッピング技術を採用する必要がある。

【0038】例えば、このようなクリッピング技術の一

例としては、放送局や番組制作側では、ライブ番組に対して数分(例えば、5分等)遅れで時間差を置いてタイムスタンプ情報と、タグ情報に対応するインデックス情報とを付けて放送し、その際、可能であれば音声認識や画像認識技術を用いた自動タグ付けシステム等を利用する一方、各家庭では、その番組をテレビに装備されたCPUの制御の元で大容量のキャッシュメモリ等に常時取り込み、CPUにより該当するタグ情報の有無を判断し、これにより該当タグ情報無しと判断される番組に対してはキャッシュ内から消去していくと共に該当タグ情報有りと判断される番組に対してはキャッシュ内から記録媒体に書き込む技術が考えられる。もちろん、これに限らず、その他のクリッピング技術を採用することも可能である。

【0039】なお、本例では「My・チャンネル・サービス」事業を想定したものであるが、その料金体系やサービスを受ける期間等については例えば視聴者により適宜選択できるように構成することも可能である。この場合、例えば図7に示すようにテレビ30の画面上で視聴者の操作により料金体系を複数のコース(例えば、期限限定コース、登録キーワード限定コース、無制限コース)の中から選択したり、サービスを受ける期間を適宜設定したりすることも可能である。

【0040】また、本例ではキーワード登録は各家庭のテレビ画面上で設定する構成としてあるが、これに限らず、例えば図8に示すように遠隔地C2から所定の通信端末(携帯電話(PHSや携帯情報端末も含む)51、PC(パーソナル・コンピュータ)52、カーナビ(カーナビゲーション・システム)53、キオスク(KIOSK)端末54等)を利用してインターネット等の通信ネットワークN3を介して応答サーバ会社B3にアクセスすることによりキーワード登録することも可能である。この場合のキーワード登録手段は、遠隔地からの番組予約手段を兼用することも可能である。携帯電話51の場合には、NTTドコモ社のiモード等に代表されるインターネット接続サービスを利用すれば、より利便性が高まるものと期待できる。

【0041】また、応答サーバ会社で管理する顧客別登録キーワード情報等は、番組の嗜好のみに限らず、商品等の嗜好に関するマーケティング用の情報として貴重な情報ともなり得るもので、これらを番組スポンサー等に提供可能に管理する情報システムを構築することも可能である。

【0042】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、デジタル放送により放映される番組を各家庭等の受信機側の記録媒体に一旦蓄積させその内容を好きなときに視聴できるデジタル技術の利点を生かしつつ、各個人毎に必要な又は興味のある特定の映像を漏れ無く確実に観ることのできる番組映像のクリッピング録画方法及びシス

テムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による番組映像録画システムの実施形態であるマイ・チャンネル・サービス支援システムの全体像を示す概念図。

【図2】本例で用いるタグ情報の一例を示す図。

【図3】マイ・チャンネル・サービス提供システムの処理手順を説明する概要図。

【図4】キーワード登録画面（選択）の表示例を示す図。

【図5】キーワード登録画面（入力）の表示例を示す図。

【図6】蓄積番組選択画面の表示例を示す図。

【図7】My・チャンネル・サービス設定画面の表示例を示す図。

【図8】キーワード登録・番組予約を外出先から実行する場合のシステム全体像を示す概念図。

【符号の説明】

B1 番組制作会社

B2 放送局

B3 応答サーバ会社

C1 家庭（個人）

C2 遠隔地（個人）

1 マイ（MY）チャンネル・サービス提供システム

10 番組制作システム

20 番組放送システム

21 送信機

30 デジタルテレビ

31a 受信アンテナ

10 31b 専用アダプタ

32 受像機

33 記録媒体

34 CPU

40 情報システム（応答サーバ・システム）

41 データベース

42 サーバ

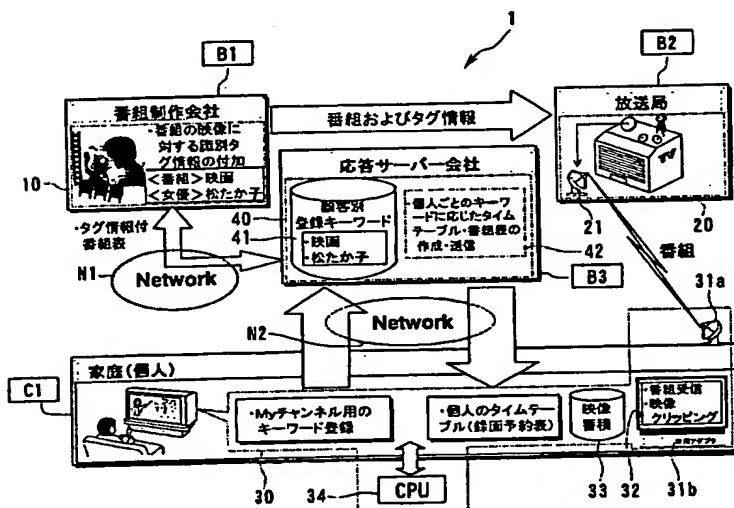
51 携帯電話（PHSも含む）

52 PC

53 カーナビ（カーナビゲーション・システム）

20 54 キオスク端末

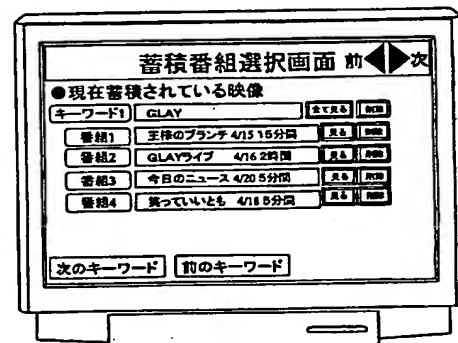
【図1】



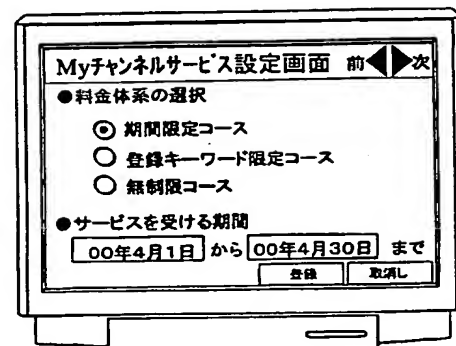
【図2】

放送の流れ	番組タイトル	料理番組	CM	健康番組
タグ情報	<サタイトル>	<ウーロン茶> <ワカメ>	<企業名> <商品名> <TELNO>	<高血圧>

【図6】

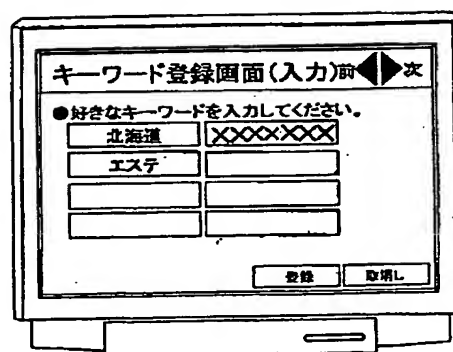
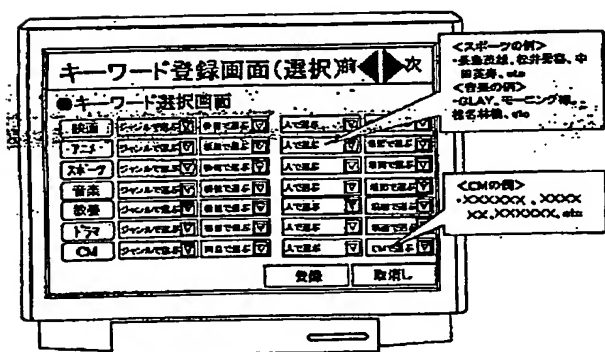


【図7】

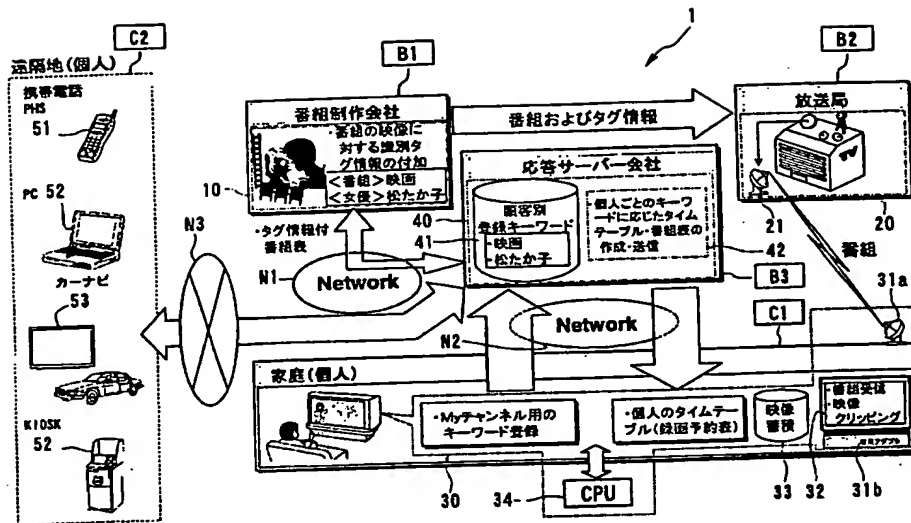


家庭: C1	応答サーバ会社: B3	放送局: B2	番組制作会社: B1
<p>選択可能なキーワード受信設定 S1</p> <p>録画したい番組情報のキーワードを選択・登録 S2</p> <p>Myチャンネル用番組録画表 S3</p> <p>受信した番組映像を自動的に蓄積 S4</p> <p>蓄積した番組 S5</p> <p>蓄積した番組を選択して視聴 S6</p>	<p>選択可能なキーワード情報 S31</p> <p>顧客別登録キーワード S32</p> <p>番組情報の付加された番組表 S33</p> <p>照合 S34</p> <p>Myチャンネル用番組録画表編集・作成 S35</p> <p>Myチャンネル用番組録画表 S36</p>	<p>放送局 S21</p> <p>本放送 + データ放送</p>	<p>選択可能なキーワード選定・作成 S11</p> <p>番組台本 S12</p> <p>番組内容(映像)に対するタグ情報の付加 S13</p> <p>番組情報の付加された番組映像と番組表 S14</p>

【图 5】



【図8】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
H04N 5/781

識別記号

F I
H04N 5/781

テーマコード(参考)

510 J

(72)発明者 斎藤 宏海
東京都港区海岸一丁目9番11号 株式会社
アール・アイ・シー内Fターム(参考) 5C025 CA02 CA09 CB08 DA01 DA04
DA05
5C064 BA01 BB07 BC11 BC16 BC20
BC25 BD03 BD08